

micro LM-100 レーザー距離計



⚠ 警告

本機器を使用する前に取扱説明書をよくお読みください。取扱説明書の内容を理解せずに使用すると、感電や火災、大けがを負う場合があります。

micro LM-100 レーザー距離計

銘板に記載されたシリアル番号を下記の空欄に控え、保管してください。

シリアル番号

もくじ

安全に関する注意	4	電池の交換および取り付け	14
一般的な安全上の注意事項	6	操作前の点検	15
作業場所での安全事項	6	セットアップと操作	16
電氣的な注意事項	6	micro LM-100 の制御部分と設定	17
作業者の安全に関する注意事項	6	電源の ON/OFF 切り替え	17
本機器の使用と手入れ	7	測定基準点の設定	17
保守点検作業	7	表示単位の変更	17
本機器の安全に関する注意事項	8	表示データ / 操作の消去	17
レーザー距離計の安全に関する事項 ...	8	測定結果の確認	17
機能概要、仕様および標準装備	9	メモリーからのデータ消去	17
概要	9	表示画面のバックライト	17
仕様	9	測定	18
特徴	10	単一測定	18
制御部分	11	連続測定、最大 / 最小測定	18
LCD 表示アイコン	11	測定値の加算・減算	19
標準装備	12	面積測定	19
レーザー分類	12	体積・容積測定	19
FCC 規則	13	間接測定	20
電磁環境両立性 (EMC)	13	2点による測定	21
リストストラップの取り付け	14	3点による測定	22

清掃作業.....	23
保管	23
点検と修理.....	23
廃棄	24
電池の廃棄.....	24
トラブルシューティングガイド	25
保証や修理について	26

安全に関する注意

取扱説明書と製品本体には、安全に関する重要な内容を伝えるために記号や表示が使用されています。ここでは、これらの記号や表示をよりよく理解してもらうための説明を記載しています。



この記号は、安全に関する警告記号です。けがを負う危険があることを警告しています。けがや死亡につながる危険を避けるため、この記号が記載された文章に従ってください。



危険

この表示は、危険を示します。記載内容を見落とすと、死亡または大けがを負うことがあります。



警告

この表示は、警告を示します。記載内容を見落とすと、死亡または大けがを負う可能性があります。



注意

この表示は、注意を示します。記載内容を見落とすと、軽度または中度のけがを負う可能性があります。

■ 注意を促す絵表示

注意！

この表示は、注意を示します。
記載内容を見落とすと、物的損
害を負う可能性があります。



この記号は、「本機器を使用する
前に取扱説明書をよく読んでく
ださい」ということを意味しま
す。取扱説明書には安全と本機
器の正確な運転に関する重要な
内容が記載されています。



本機器にはクラス2のレーザー
が含まれていることを示します。



レーザー光を直接見てはいけな
いことを示します。



レーザー光が存在し、危険があ
ることを警告しています。

一般的な安全上の注意事項



警告

安全に関する警告や指示は必ずお読みください。
記載の警告や指示に従わないと、感電事故や火災
の発生、また重傷を負うことがあります。

取扱説明書は必ず保管してください！

作業場所での安全事項

- ・ 作業場所は常に清潔で明るくしてください。
物が散乱していたり、暗い場所での作業は事故につ
ながります。
- ・ 可燃性の液体やガス、粉塵などで爆発の危険がある
環境で本機器を使用しないでください。本機器の使
用で火花が発生して、粉塵やガスに引火する場合が
あります。
- ・ 本機器の使用中は、子供や部外者を近寄らせないで
ください。操作から注意がそれると本機器が制御で
きなくなるおそれがあります。

電氣的な注意事項

- ・ パイプ、ラジエーター、レンジ、冷蔵庫などの接地
表面と体が接触しないようにしてください。接地表
面に接触すると感電の危険が高まります。
- ・ 本機器は雨にさらしたり濡らしたりしないでくださ
い。本機器内部に水が入り込むと、感電する危険が
高まります。

作業者の安全に関する注意事項

- ・ 常に作業に集中し、常識的な判断力をもって本機器
を操作してください。疲労していたり、薬物、アル
コールや医薬品の影響を受けた状態で本機器を操作
しないでください。操作中に注意力が落ちると、重
傷を負う原因につながります。
- ・ 保護具を使用しながら本機器を操作してください。
目は常に保護してください。防塵マスク、安全靴、
ヘルメット、耳栓など、保護具の使用によって、け
がをする危険を軽減できます。
- ・ 腕などを伸ばし過ぎたり、姿勢を崩して本機器を操
作しないでください。常に足元をしっかりとらせ、バ
ランスのとれた姿勢で操作してください。バランス
のよい姿勢で操作すると、予期しない状況において
も本機器をうまく制御することができます。
- ・ 日本国内では、計量法による単位規制のため、
フィート (ft)、インチ (in) 表示はできません。
本機器をご使用になる時は、必ずメートル (m) 単
位に設定してご使用ください。

本機器の使用と手入れ

- ・ 本機器に無理な力をかけないでください。必ず用途に合った機器を使用してください。用途に合った機器を正しく使用すると、作業が安全に、またスムーズに行えます。
- ・ 電源スイッチによる ON/OFF 切り替えができない状態で本機器を使用しないでください。スイッチ制御ができない本機器は危険です。必ず修理を行ってください。
- ・ 調整作業や付属品の交換、また本機器を保管する場合は、電源とプラグ、本機器とバッテリー・パックとの接続を外してから行ってください。このような予防措置を講じることで、けがをする危険を軽減することができます。
- ・ 使用していない本機器は子供の手の届かない場所に保管し、本機器の取り扱いに詳しくない人に操作をさせないでください。取り扱い方法を知らずに本機器を操作すると危険です。
- ・ 本機器は良好な状態で使用してください。可動部分が位置ずれしていたり、動かなくなっていないか、なくなっていたり損傷のある部品はないかなど、本機器操作に影響するおそれのある状態がないか確認してください。損傷が見つかった場合は、必ず修理してから本機器を使用してください。事故の多くは、しっかり保守点検が行われていない本機器を使用したことが原因で発生します。

- ・ 本機器や付属品は、作業の条件や内容を考慮し、また記載の指示に従って使用してください。用途以外の目的に本機器を使用すると危険です。
- ・ 付属品は機器メーカーが推奨するものだけを使用してください。付属品の用途はそれぞれ異なります。本機器に適合した付属品を選んでください。
- ・ 取っ手部分は乾燥した状態に保ち、油分が付かないようにしてください。そうすることで本機器をしっかり制御することができます。

保守点検作業

- ・ 本機器の保守点検は適格者が行い、部品は必ず同一部品で交換してください。適格者が保守点検を行うことで、本機器の安全性を維持することができます。

本機器の安全に関する注意事項



警告

ここでは、本機器操作の重要な安全に関する注意事項について記載します。

目のけがなどの重傷の危険を軽減するため、本機器を使用する前に、以下の注意事項をよくお読みください。

ご質問がある場合は、日本エマソン（株）リッジ事業部までお電話を頂くか、メールでご連絡ください。

日本エマソン株式会社 リッジ事業部

〒105-0022

東京都港区海岸 1-16-1

ニューピア竹芝サウスタワービル 7F

TEL：(03)5403-8560(代)

FAX：(03)5403-8569

(祝祭日を除く月曜日から金曜日 9:00～17:00)

メールアドレス：Ridgid@emerson.co.jp

<http://www.ridgid.jp>

取扱説明書は必ず保管してください！

本取扱説明書は操作時に参照できるよう本機器とともに保管してください。

レーザー距離計の安全に関する事項

- ・ レーザー光を直接見ないでください。レーザー光を直接見ると、目に危険な場合があります。また、双眼鏡や望遠鏡など、光学機器を使用してレーザー光を直接見ないでください。
- ・ レーザー光を他者に直接向けないでください。目に危険な場合がありますので、レーザー光が目の高さをはずれて向けられていることを確認してください。

機能概要、仕様および標準装備**概要**

RIDGID® micro LM-100 は、簡単なボタン操作で正確で迅速に距離を測定します。測定ボタンを押すとクラス2レーザーが照射されます。距離が離れていたり、手が届きにくい測定場所にレーザー光を当て、測定ボタンを再度押してください。鮮明で確認しやすいバックライト付き LCD 表示画面に測定結果がすぐに表示されます。

仕様

測定範囲	0.05 ~ 50 m
10 m までの測定精度 (標準偏差の 2 倍)	通常: ± 1.5 mm
測定単位	メートル (m) (フィート (ft)、インチ (in)) *
レーザークラス	クラス2
レーザータイプ	635 nm、<1 mW
保護等級 (IP)	IP54 防塵、防滴
メモリー	測定 20 回分
操作温度範囲	0°C ~ 40°C
保管温度範囲	-10°C ~ 60°C
電池寿命	測定 4,000 回まで
電池	単 4 アルカリ電池 × 2 本
自動レーザー OFF	30 秒後

自動電源 OFF

寸法

重量

操作しない状態で3分後

115 x 48 x 28 mm

0.2 kg

- ・ 測定距離は 50 m までとなっています。日照下での測定や測定対象の反射が十分でない場合は、市販の標的板を使用して測定能力を確保してください。
- ・ 測定対象表面や測定場所温度が適切な場合は 10 m までとなります。強い日照下、反射が不十分な測定対象、不安定な温度状況などの場合は、10 m を超える距離での偏差が ± 0.15 mm/m となることがあります。
- * 日本国内では、計量法により フィート (ft)、インチ (in) 表示はできませんので、メートル (m) 単位のみでご使用ください。

特徴

- ・ 面積および体積・容積の測定
- ・ 連続測定
- ・ 間接測定
- ・ 最短 / 最長距離トラッキング
- ・ 測定値の加算・減算
- ・ ビープ音による確認
- ・ 画面照明およびマルチライン表示



図 1 – micro LM-100 レーザー距離計

制御部分

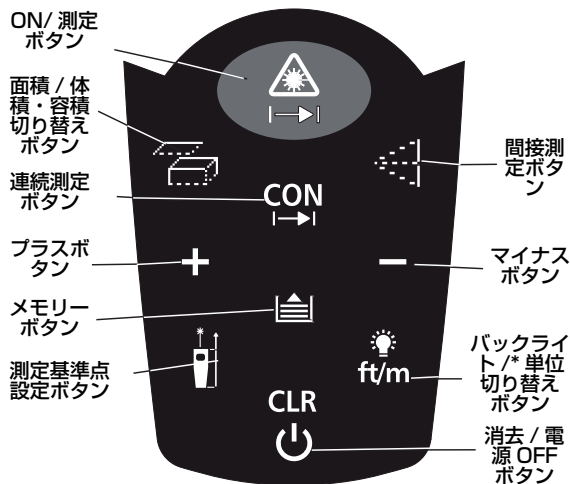


図2 - micro LM-100 の操作ボタン

* 日本国内では、計量法により フィート (ft)、インチ (in) 表示はできませんので、メートル (m) 単位のみでご使用ください。

LCD 表示アイコン

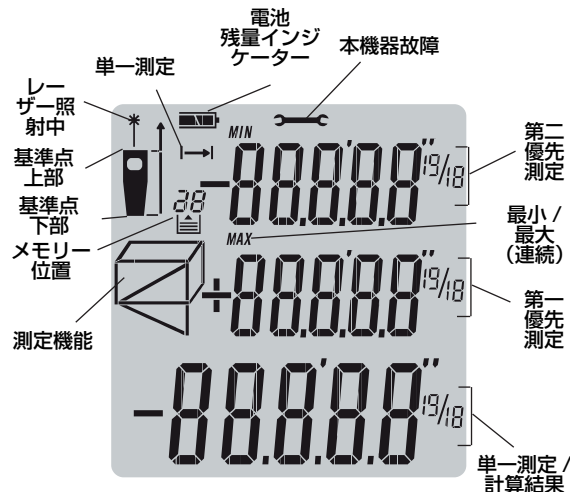


図3 - micro LM-100 のLCD 表示画面

標準装備

- ・ micro LM-100
- ・ 電池（単 4 × 2 本）
- ・ キャリングケース
- ・ 取扱説明書
- ・ リストストラップ

注意！

本機器は距離測定用に設計されています。使用方法を誤ったり、用途以外に使用すると、正しく測定できないことがあります。ユーザーの責任において測定場所に応じた測定方法を選択してください。

レーザー分類



RIDGID micro LM-100 は可視レーザー光を発生させ、本機器上部から照射します。

本機器は以下の規格が定めるクラス2に適合しています：EN 60825-1:1994/A11:1996/A2:2001/A1:2002

FCC 規則

本機器は検査の結果、FCC 規則パート 15 が規定するクラス B デジタル装置の制限に準拠していることが証明されています。

これらの制限は住宅地区で使用した場合に、有害な電波干渉から保護することを目的としています。

本機器は電波を発生させ、また使用しており、電波を放出する可能性があります。説明書に従って設置、使用しないと無線通信を妨害することがあります。

ただし、特定の設置条件で電波干渉が発生しないことを保証するものではありません。

ラジオやテレビの受信に対して本機器による有害な電波干渉が発生しているかどうかは、本機器電源の ON/OFF 操作を行うことで判断が可能です。以下の方法で電波干渉を解消することをおすすめします。

- ・ 受信アンテナの方向かその設置場所を変更する。
- ・ 本機器と受信機との距離を離す。
- ・ 販売店やラジオ／テレビ技術者に問い合わせる。

電磁環境両立性 (EMC)

電磁環境の両立性とは、本機器が電磁と静電の放出が存在する環境でも他の機器に電磁的に干渉することなく問題なく機能することを意味します。

注意！

本機器は適用されるすべての ECM 規格に準拠しています。ただ、本機器が他の機器に干渉する可能性を排除するものではありません。

リストストラップの取り付け

細い方のストラップ端を本機器のストラップ取り付け部に通します。取り付け部に通したループ内にストラップ全体を通してしっかりと引きます。



図 4 – ストラップの取り付け

電池の交換および取り付け

本機器にはすでに電池が取り付けられています。電池残量インジケータが点滅している場合は、電池の交換が必要です。また、電池の液漏れを防ぐため、長期間の保管の前には電池を本機器から取り外してください。(図 5)



図 5 – 電池の交換

1. プラスのドライバーで電池収納部カバーのねじを緩め、カバーを取り外します。
2. 内部の電池を取り外します。
3. 単 4 アルカリ電池 2 本を極性の表示に注意しながら収納部に取り付けてください。

注意！

電池は必ず同種のものを使用してください。また、過度の加熱や電池損傷を避けるため、未使用と使用済みの電池を同時に使用しないでください。

4. カバーを元に戻して、ねじを締めます。

操作前の点検



警告

操作前には必ず本機器を点検し、けがや測定エラーを防ぐために問題があれば適切な措置を講じて下さい。

レーザー光を直接見ないでください。レーザー光を直接見ると、目に危険な場合があります。

1. 点検作業を容易にするため、本機器から油分、グリース、ごみを取り除いてください。
2. 部品がすべて揃っているか、破損、磨耗、位置ずれ、引っかかりがないか、また安全で正常な使用の障害になる状態がないか点検します。
3. 警告ラベルが貼付され、警告内容が読める状態になっていることを確認します。
(図 6)
4. 点検作業で問題が見つかった場合は、修理を行うまで本機器を使用しないでください。

5. 取扱説明書に従って本機器の電源を ON にして測定を行い、巻尺などで測定結果を確認してください。測定結果が許容範囲内にならない場合は、修理を実施するまで本機器を使用しないでください。
6. 日本国内では、計量法による単位規制のため、フィート (ft)、インチ (in) 表示はできません。本機器をご使用になる時は、必ずメートル (m) 単位に設定してご使用ください。



図 6 - 警告ラベル

セットアップと操作



警告



レーザー光を直接見ないでください。レーザー光を直接見ると、目に危険な場合があります。また、双眼鏡や望遠鏡など、光学機器を使用してレーザー光を直接見ないでください。レーザー光を他者に直接向けないでください。目に危険な場合がありますので、レーザー光が目の高さをはずれて向けられていることを確認してください。けがや測定エラーを防ぐため、以下の手順に従って本機器のセットアップと操作を行ってください。

1. 「一般的な安全に関する注意事項」で記載されている通り、作業場所が適切な状態になっていることを確認してください。
2. 測定対象を点検し、本機器がその用途に合っていることを確認してください。本機器は 50 m までの距離測定用に設計されています。測定距離、精度などについては「仕様」を参照してください。
3. 使用するすべての機器を正しく点検してください。
4. 日本国内では、計量法による単位規制のため、フィート (ft)、インチ (in) 表示はできません。本機器をご使用になる時は、必ずメートル (m) 単位に設定してご使用ください。

micro LM-100 の制御部分と設定

電源の ON/OFF 切り替え

ON/ 測定ボタン (ON) を押して本機器の電源を ON してレーザーが照射できる状態にします。このボタンを押す前に、レーザーが安全な方向を向いていることを確認してください。

本機器の電源を OFF にするには、消去 / 電源 OFF (CLR OFF) を押します。また、3 分間いずれの操作も行わないと、電源が自動的に OFF になります。

測定基準点の設定

本機器の電源を ON にした際、デフォルト基準点は本機器底部 (I) になっています。測定基準点ボタン (I) を押すと、基準点が本機器上部 (レーザー側) に変更されます。ピープ音が聞こえ、基準点マーク (I) が新たに表示されます。

表示単位の変更

バックライト / 単位変更ボタン (ft/m) をやや強く押すと、表示単位を変更することができますが、日本国内では、計量法による単位規制のため、本機器をご使用になる時は、メートル (m) 単位のみでご使用ください。フィート (ft)、インチ (in) 表示はご使用にならないようにご注意ください。

表示データ / 操作の消去

消去 / 電源 OFF ボタン (CLR OFF) を押すと、表示データや最後に行った操作を消去することができます。

測定結果の確認

メモリーボタン (M) を押すと、直近 20 回分の測定結果、計算結果を逆順で表示します。プラスボタン (+)、マイナスボタン (-) で測定結果表示を上下に移動しながら確認できます。

メモリーからのデータ消去

メモリーボタン (M) と消去 / 電源 OFF ボタン (CLR OFF) を同時に押すと、メモリー内に保存されているすべてのデータが消去されます。

表示画面のバックライト

バックライト / 単位変更ボタン (ft/m) を軽く押すと、表示画面バックライトの ON/OFF を切り替えることができます。

測定

本機器の測定距離は最大 50 m です。強い日照下で使用すると、この測定可能距離が短くなる場合があります。また測定対象表面の反射が十分でないと、測定可能距離が短くなることがあります。

水などの透明な液体、ガラス、発泡スチロール、鏡など、無色、半透過性、高反射の対象物の場合は、測定エラーが生じることがあります。市販のレーザー用標的板を使用することで、測定精度が高まる場合があります。

注意！

本機器が損傷する原因となりますので、太陽に向けて使用しないでください。

単一測定

1. ON/ 測定ボタン  を押して、レーザー照射が可能な状態にします。ON/ 測定ボタン  を再度押すと、測定が実行されます。
2. 測定値はすぐに表示されます。

連続測定、最大 / 最小測定

1. 連続測定ボタン  を押すと、連続測定モードになります。連続測定モードでは、3 行目に表示される測定値がおおよそ 0.5 秒間隔で更新されます。1、2 行目には、連続測定中の最小値と最大値が随時更新されながら表示されます。
2. 連続測定を終了するには、ON/ 測定ボタン  または消去 / 電源 OFF ボタン  を押してください。連続して 100 回の測定が行われると、本機器は自動的に連続測定を終了します。

測定値の加算・減算

1. プラスボタン  を押すと、最新の測定結果が加算されます。
2. また、マイナスボタン  を押すと、最新の測定結果が減算されます。
3. 最後に行った操作を取り消すには、消去 / 電源 OFF ボタン  を押してください。
4. 消去 / 電源 OFF ボタン  を再度押すと、単一測定モードに戻ります。

面積測定

1. 面積 / 容積ボタン  を押します。「」マークが画面に表示され、また測定する距離が点減表示されます。
2. ON/ 測定ボタン  を押して、最初の測定（長さ）を行います。
3. ON/ 測定ボタン  を再度押すと、もう一边（例えば幅）の測定が実行されます。
4. 面積の計算結果は3行目に、各辺の測定値は1、2行目に表示されます。

体積・容積測定

1. 面積 / 体積・容積ボタン  を押します。「」マークが画面に表示され、また測定する距離が点減表示されます。
2. 面積 / 体積・容積ボタン  を再度押すと、容積測定を表す「」マークが画面に表示され、また測定する距離が点減表示されます。
3. ON/ 測定ボタン  を押して、最初の測定（長さ）を行います。
4. ON/ 測定ボタン  を再度押すと、もう一边（例えば幅）の測定が実行されます。
5. 面積の計算結果は3行目に、各辺の測定値は1、2行目に表示されます。
6. ON/ 測定ボタン  を再度押すと、3回目の測定（例えば高さ）が実行されます。この測定値は2行目に表示されます。

容積の計算結果は3行目に表示されます。

間接測定

直接測定することが不可能な場合は、間接測定を行うことができます。間接測定は直角三角形の斜辺を測定して実行されます。地面からの壁の高さを測定する場合は、斜辺となる壁上部までの距離を測定し、さらに2点間が垂直になるようにして底辺となる壁底部までの距離を測定します。2回の測定結果から、2点間の距離が計算されます。

間接測定の精度は、直接測定した場合に比べて低くなります。間接測定での精度を高めるには、本機器を同一位置に保ったまま、角度だけを変えて両測定を行ってください。また、三角形の底辺を測定する際はレーザー光が測定点間の線に垂直になっていることを確認してください。測定箇所が一直線に並ぶように測定を実行する必要があります。

2点による測定

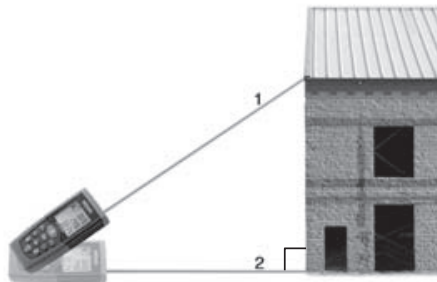


図 7 – 2点による間接測定

1. 間接測定ボタン  を押します。「」マークが画面に表示され、また測定する距離が点滅表示されます。
2. ON/ 測定ボタン  を押してレーザー照射が可能な状態にし、レーザー光を上部 (1) に向けて測定を行ってください。測定結果が 1 行目に表示されます。
3. 次に測定する距離が点滅表示されます。
4. 測定点間ができるだけ垂直線上にあるように本機器を保持しながら ON/ 測定ボタン  を押してレーザーが照射できる状態にし、ON/ 測定ボタン  を再度押してレーザー照射が可能な状態にして水平点 (2) までの距離を測定します。この測定結果は 2 行目に表示されます。
5. 間接測定の結果が 3 行目に表示されます。

3点による測定

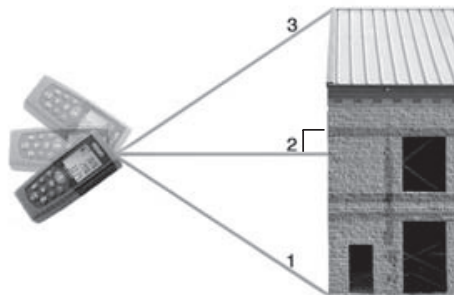


図 8 - 3点による間接測定

1. 間接測定ボタン  を押すと、「」マークが画面に表示されます。測定する距離が再び点減表示されます。
2. 間接測定ボタン  を再度押すと、「」マークが画面に表示されます。測定する距離が再び点減表示されます。
3. レーザー光を底部（1）に向け、ボタン1を押して測定を実行します。測定結果が1行目に表示されます。
4. 次に測定する距離が点減表示されます。
5. 測定点間ができるだけ垂直線上にあるように本機器を保持しながら ON/ 測定ボタン  を押してレーザーが照射できる状態にし、ON/ 測定ボタン  を再度押してレーザー照射が可能な状態にして水平点（2）までの距離を測定します。この測定結果は2行目に表示されます。
6. 間接測定ボタン  をさらに押してレーザー光を上部に向け、間接測定ボタン  を再度押して測定を実行します。この測定結果は2行目に表示されます。
7. 間接測定の結果が3行目に表示されます。

清掃作業

本機器を水につけないでください。ごみは湿らせた柔らかい布でふき取ってください。強い洗剤や溶剤は使用しないでください。本機器は望遠鏡やカメラと同様に取り扱いってください。

保管

本機器は -10℃～60℃の安全で乾燥した場所に保管してください。

本機器は子供や本機器の取り扱いに詳しくない人の手の届かない場所に安全に保管してください。長期間の保管や輸送の場合は、電池の液漏れを防ぐため、あらかじめ電池を取り外してください。

点検と修理**警告**

誤った方法で点検や修理を行うと本機器の操作安全性が損なわれます。

本機器の点検や修理は、必ず RIDGID が承認したサービスセンターにご依頼ください。

お近くのリッジ・サービスセンターや点検、修理に関するご質問は、販売店にお問い合わせください。

日本エマソン株式会社 リッジ事業部

〒105-0022

東京都港区海岸 1-16-1

ニューピア竹芝サウスタワービル 7F

TEL: (03)5403-8560(代)

FAX: (03)5403-8569

(祝祭日を除く月曜日から金曜日 9:00～17:00)

メールアドレス: Ridgid@emerson.co.jp

<http://www.ridgid.jp>

修理品は下記まで送付をお願い致します。

**日本エマソン株式会社
リッジ事業部 川崎サービスセンター**

〒210-0856

神奈川県川崎市川崎区田辺新田 1-1

富士物流(株) 京浜物流センター内

TEL: (044)328-2244 / 2248

FAX: (044)322-5533

故障が疑われる場合については、25 ページのトラブルシューティング・ガイドを参照してください。

廃棄

本機器の部品にはリサイクルが可能な貴重物質が含まれています。お近くのリサイクル専門業者にお問い合わせください。部品の廃棄は各規制に従って行ってください。さらに詳しくは、廃棄処理機関にお問い合わせください。



EC 加盟国：電機機器を家庭ごみといっしょに廃棄しないでください！

電機電子機器の廃棄に関する欧州指針 (2002/96/EC) および各加盟国の規制は、使用できなくなった電気機器は環境に配慮した方法で個別に収集して廃棄すること

とを定めています。

電池の廃棄

EC 加盟国：不良や残量のなくなった電池は、指針 2006/66/EEC に従って廃棄することが必要です。

トラブルシューティングガイド

コード	原因	対処法
204	計算エラー	再測定を行ってください。
208	信号が微弱、測定に時間がかかる、測定距離が 50 m を超えている。	標的板を使用してください。
209	信号が強すぎる。測定対象の反射が強すぎる。	市販の標的板を使用してください。
252	温度が高すぎる。	本機器の温度を下げてください。
253	温度が低すぎる。	本機器を温度を上げてください。
255	ハードウェアのエラー	本機器の電源をいったん OFF にして、再度 ON にしてください。 改善されない場合は、テクニカルサポートにご連絡ください。

保証や修理について

保証期間：

保証は製品のご購入日から1年間とします。また、ご購入時の領収書は大切に保存してください、保証修理時に必要となります。

保証の範囲：

本機器の製造上および、材料に欠陥があった場合のみ保証の対象となります。

保証の適用対象外の事項について：

誤用、濫用、通常の摩耗や亀裂による故障は、本保証の対象に含まれません。また、消耗品等の自然消耗、劣化などの理由による交換や修理は対象外となります。弊社は、本機器の故障、又はその使用によって生じた、付随的損害または間接的損害に対する一切の責任を負いません。

ケーブル、先端ツール、各種アクセサリ類は消耗品等に含まれますので、交換や修理は保証の対象外となります。

保証対象：

製造または材料の欠陥以外の理由で本機器が使用不能になったときには、保証の適用は終了します。

保証や修理を受けるときには：

本機器をご購入いただいた販売店にお持込ください。または、運賃前払いにて弊社サービスセンターに発送してください。

保証や修理方法：

保証や修理対象の製品は、弊社の選択により、修理または交換して返送いたします。保証対象外の製品については、有償にて修理をいたします。

保証の適用対象外の事項について：

誤用、濫用、通常の摩耗や亀裂による故障は、本保証の対象に含まれません。弊社は、付随的損害または間接的損害に対する一切の責任を負いません。

修理を受けるときには：

本機器をご購入いただいた販売店にお持込ください。または、運賃前払いにて弊社サービスセンターに発送してください。また、修理内容にかかわらず返送時の運賃はお客様のご負担となります。

保証の適用について：

弊社に代わって、販売店、代理店などが本保証を変更したり、別の保証を提供したりすることはありません。



www.ridgid.jp



www.emerson.co.jp